

劇中劇、テンペスト、人物説明、
原作、シェイクスピア、

あらすじ、

ミラノ大公、**プロスペロー**は、弟、アントーニオの策略により、地位を奪われ、追放され、娘、**ミランダ**とともに孤島に流れ着く。そこは怪人、**キャリバン**や妖精たちが住む島。歳月を経て秘術を身に付けたプロスペローは、ある日、魔法の力で嵐を起こす。彼を陥れた弟、アントーニオとナポリ女王、**アロンザ**、王子、**ファーディナンド**の乗る船はプロスペローの起こした嵐によって難破し、プロスペローたちのいる孤島に流れ着く。そこでミランダとファーディナンドは恋に落ちる。プロスペローの魔法の力は、空気の精、**エアリエル**を使って手に入れたものだ。そしてプロスペローは公国を取り戻す。

* アロンザ女王は、シェイクスピアの原作ではアロンゾ王、

田代英忠、プロスペロー、ミラノ大公。弟、アントーニオの策略により、地位を追われ、孤島に流れつく。

アントーニオ、その弟。兄、プロスペローの地位を奪う。

関場理生、ミランダ、プロスペローの娘。父とともに流れついた孤島で、父の仇、ナポリ女王、アロンザの息子であるファーディナンドと恋に落ちる。

平塚かず美、アロンザ、ナポリ女王。アントーニオとともにプロスペローの地位を奪うが、秘術を身につけたプロスペローの魔法の力で船が難破し、プロスペローのいる孤島に流れ着く。

柳浩太郎、ファーディナンド、アロンザの息子でナポリ王子。船が難破し、流れ着いた孤島でプロスペローの娘、ミランダと恋に落ちる。

瀬川サチカ、エアリエル、空気の精。プロスペローの手下。アロンザとファーディナンドの乗る船を襲った嵐は、この妖精が起こしたもの。

大橋ひろえ、キャリバン、孤島に住む、以前の島の持ち主である魔女から生まれた。プロスペローに魔術を奪われ、洞窟ずまいを強いられる。